

「日本史A」学習指導案





日 時 平成29年9月12日(火) 第5校時(13:15~14:05)
 場 所 2階・社会科教室
 対 象 2年BC組「日本史A」選択者(41名)
 授業者 寺沢 英幸

1 単元名 日清・日露戦争—アジアの近代—

2 本時の目標

- (1) 日清・日露戦争前後における国際環境の推移について理解する。
- (2) 欧米列強や日本の帝国主義化に対する課題意識を高める。

3 本時の展開

指導過程	指導内容	生徒の学習活動	評価の観点	指導上の留意点
導入 10分	帝国主義とは何か 学習課題の提示	○19世紀後半における各国の動向(先進資本主義国の帝国主義化)に関する資料を参照し、気が付いたことや調べたことを発表し合う。 【資料】 ①19世紀後半におけるイギリス・フランス・ドイツ・ロシア・中国(清)に関する年表 ②「列強によるアフリカ分割」の地図 ③「列強による太平洋分割」の地図 ④「列強の植民地面積」の図 ○単元を中心となる問いについて確認する。 【学習課題—単元の問い—】 MQ: 日清・日露戦争は何をもたらしたか ～日本の「帝国主義化」を支持する?しない?～		・ワークシートに記入し、ペアワークで発表する。 ・ワークシートに学習課題を記入する。
展開 30分	日清・日露戦争前後の国際関係について	【問】 日清・日露戦争を経て「日本の立場」はどのように変化したか? ○日清・日露戦争前後の国際環境についてビゴーらの描いた風刺画から読み取り、その推移について考察する。		・グループ(原則4人)で活動させる。
		<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>A日清戦争前</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>B日清戦争後</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>C日露戦争前</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>D日露戦争の結果</p>  </div> </div>		・ワークシートに記入し、ペアワークで発表させる。
整理 5分	学習のふりかえりと本時のまとめ	○本時で考えたことを踏まえ、今後の学習展開と学習意義について捉える。	関心・意欲・態度	・リフレクションカードに記入する。

4 評価の方法等

帝国主義の成立と日清・日露戦争がもたらした日本の変化と世界の影響について理解を深めるとともに、学習単元に対する課題意識を高めている。(ワークシートの記述、授業への参加態度)